

香美市で ニラ農家を 募集します！

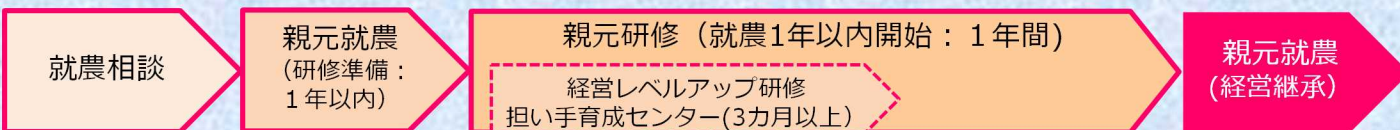
募集人数：2名以内



就農までの流れ1（U・Iターン就農）



就農までの流れ2（親元就農）



私たちがお手伝いします



香美市農林課

本気で頑張る人を応援します。研修から就農までの計画についてご相談ください。まずは私に相談してください。



中央東農業振興センター

研修中や就農後の、栽培技術や経営管理について、技術職員が地域の実績データに基づいた指導を行います。経営計画の作成も支援します。



JA土佐香美

技術の習得や資金の確保など、就農までには様々な課題がありますが、一つ一つ乗り越えましょう。営農開始後もサポートします。



JAニラ部会新規就農者支援チーム

私たちや、指導農業者が就農のお手伝いをします。仲間と共にニラ栽培に取り組んでみませんか。



(左)ニラ部会現地検討会
定期的に現地検討会を行い
収量や品質向上を図っています。

(右)グリーンカレッジ
新規就農や品目転換でニラ栽培を始めて約5年目までの方を対象に、栽培や経営について講座を開催し支援をしています。

まずはお電話ください！

問い合わせ先：香美市担い手育成総合支援協議会事務局(香美市農林課農政班)

住所：香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号

TEL：0887-53-1062 FAX：0887-53-5877

Email：nosei@city.kami.lg.jp

(平成30年度改訂)

先輩就農者の就農ストーリー

基礎研修
農育センター
(1年)

就農地
を決定

農家研修
(10カ月)

就農

「年中栽培できる作物を作りたい」北海道から、20歳のときに高知に移住し38歳で就農を決意しました。

就農相談で県や市の関係機関を回り、情報を仕入れ、その中で土佐香美の「ニラ」は、県内においても生産量が高く、組織もしっかりしていると感じました。そこで、香美市のニラ農家で研修させていただき、その後ハウスを借りて、就農することができました。

農業は、お互いに助け合う場面が多く、一人では、営農の安定につながりにくいと思います。

農業開始時には、資金を含めて準備は必要ですが、地域の中で人とのつながり、相談できる人を増やしていくことも大事だと思います。



他産業から就農12年目の板橋さん

求める人材

- ①積極的に栽培に取り組む意欲があり健康な方
- ②原則40歳以下（できるだけ夫婦）で、研修終了時には香美市内に居住して営農できる方
- ③認定新規就農者になること
(5年間の営農計画を市に認められることが必要)
- ④収入を得るまでの生活費と別に300万円以上の自己資金を持っている方
- ⑤香美市に来て、面接を受けられること。
- ⑥地域活動に積極的に参加できる方
- ⑦営農経験（農産物を生産・販売して収入を得る行為）がないこと（家庭菜園は除く）。
- ⑧募集人数：2名以内

主な支援制度

- 受入農家で研修する《就農前1～2年》
・ 新規就農推進事業・農業次世代人材投資事業（準備型）
- 親元で研修する《就農後1年間》
・ 新規就農推進事業
- 所得の補填する《就農後5年間》
・ 農業次世代人材投資事業（経営開始型）
- ハウスを用意する
・ 園芸用ハウス整備事業

※支援制度の詳細については面接時に説明します

香美市

- 高知市内まで近くて便利、「ちょうどよい田舎暮らし」ができます。
- 「空港に近い、高速道路ICが近い、特急の止まるJR駅がある。」交通アクセスの良い住みやすい町です。
- 3町それぞれに特徴があり、ライフスタイルに合った暮らしができます。
○ 土佐山田町(町暮らし)香美市の中心部
○ 香北町(里暮らし)
○ 物部町(山暮らし)
- 「空き家バンク」を設置し、田舎の古民家を中心とした空き家情報を提供
- 香美市の暮らし体験できる「香美市お試し移住体験住宅」を用意

香美市立移住定住交流センター

香美市からの委託を受けた「NPO法人いなかみ」が運営し、移住希望者の相談対応や移住に役立つ情報発信などに取り組んでいます。

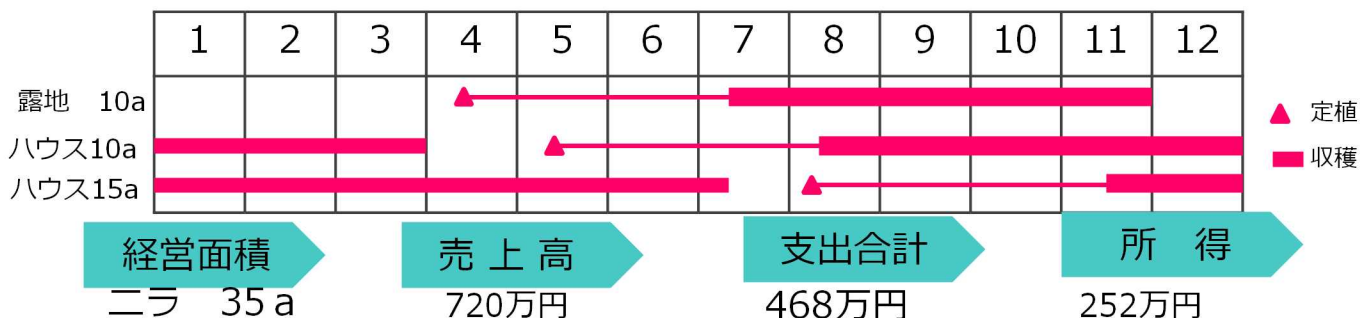
高知県香美市土佐山田町本村214

TEL/FAX：0887-52-8606

E-mail:madoguchi@inakami.com

ニラ農家の作業体系と経営モデル

就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。



《経営モデル》

■ 10aあたり収量：ハウス6,000kg、露地3,000kg

■ 年間総労働時間：6,000h（家族労働力2人＋雇用）